

変化の態様が一意匠として認められる例

変化前の画像と変化後の画像が、以下の（i）及び（ii）の要件を満たす場合にのみ、変化の態様が一意匠として認められます。

（i）物品の同一機能のための画像であること

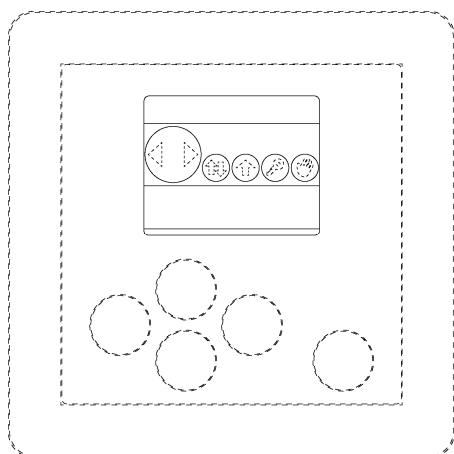
（ii）変化の前後に形態的関連性が認められるものであること

（意匠審査基準 74.8.1.4 より）

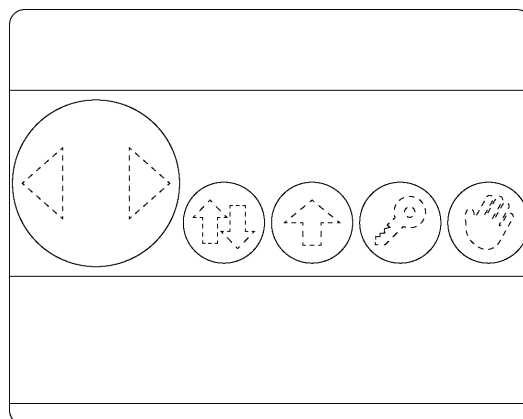
- | | | |
|---|----------------|------------|
| 1 | 意匠登録第 1517663号 | 自動ドア用動作設定器 |
| 2 | 意匠登録第 1531540号 | 携帯情報端末機 |

【登録番号】	意匠登録第 1517663 号
【出願日(出願基準日)】	2014.05.30
【分類】	H7-120 W
【意匠に係る物品】	自動ドア用動作設定器
【意匠に係る物品の説明】	本願意匠に係る物品は、自動ドアの開閉動作を制御するコントローラーに接続され、コントローラーにおける動作モード(開保持、自動、一方通行等)等を設定、変更することができるものである。表示部拡大図、及び、変化後を示す表示部拡大図1乃至同4に表された画像は、本物品における動作モード設定機能を発揮できる状態にする操作を行うためのものであって、矢印キーで設定したい動作モードを選択し、決定キーを押すことにより、動作モードを設定することができる。動作モード選択画面を表示させた状態においては現行の動作モードのアイコンが大きく表示され、矢印キーで選択すると、選択されたアイコンが大きく表示される。
【意匠の説明】	実線で表した部分が部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。底面図は平面図と対称に表れる。
【部分意匠】	

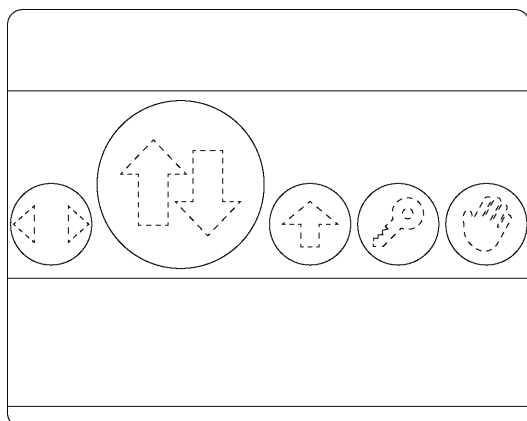
【正面図】



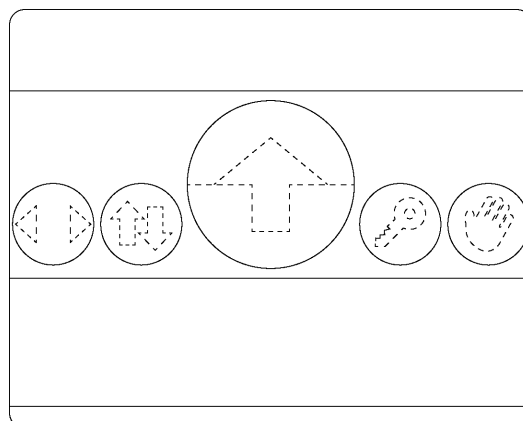
【表示部拡大図】



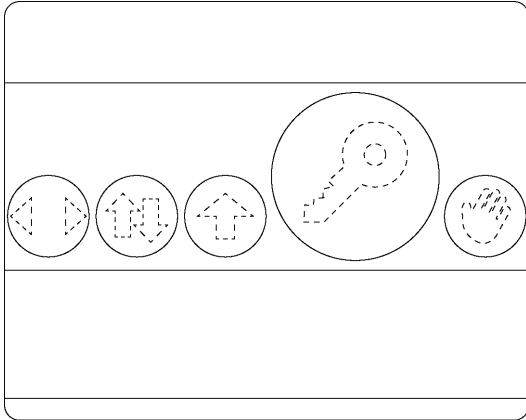
【変化後を示す表示部拡大図 1】



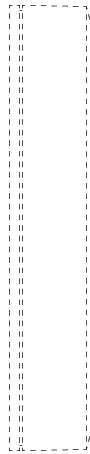
【変化後を示す表示部拡大図 2】



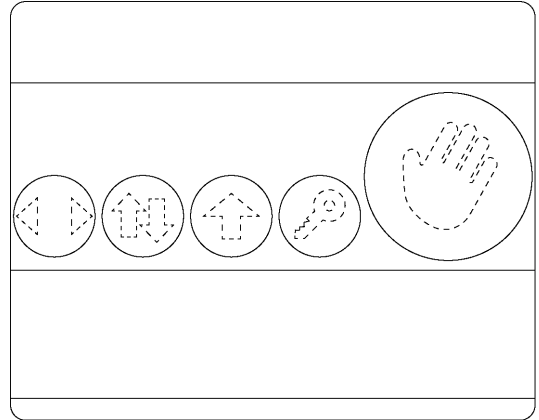
【変化後を示す表示部拡大図 3】



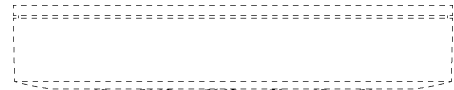
【左側面図】



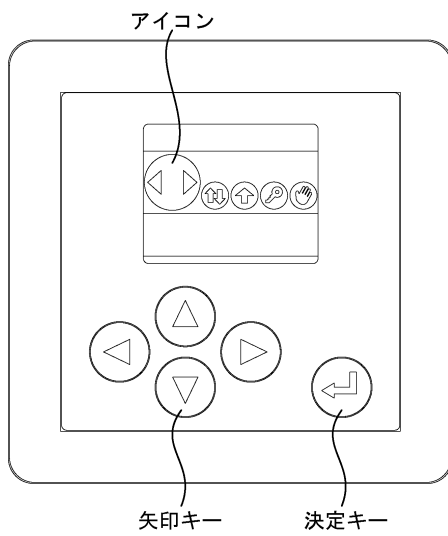
【変化後を示す表示部拡大図 4】



【平面図】



【各部の名称を示す参考図】



【登録番号】 意匠登録第 1531540 号

【出願日(出願基準日)】 2014.12.25

【分類】 H7-725 W

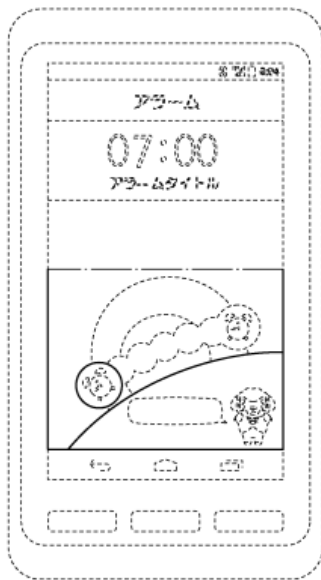
【意匠に係る物品】 携帯情報端末機

【意匠に係る物品の説明】 本物品は、タッチパネル式表示部を備えた、アラーム機能を有する携帯情報端末機である。正面図の表示部に表示された画像は、例えば、設定されたアラームを通知するための表示であり、操作部を弧状表示部に沿ってスライドさせることで、アラームを止めることができる。

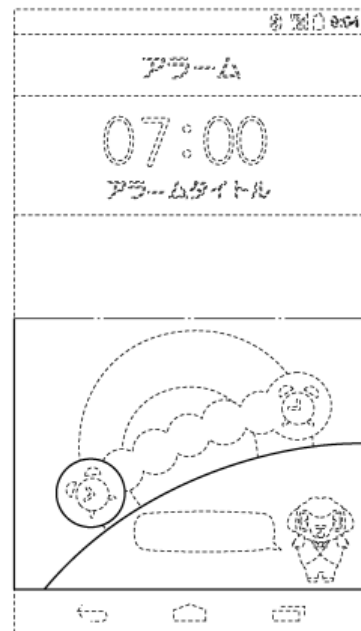
【意匠の説明】 実線で表した部分が、部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。一点鎖線は、部分意匠として意匠登録を受けようとする部分とその他の部分との境界のみを示す線である。意匠登録を受けようとする部分を示す参考表示部拡大図において、薄墨色を施した部分が、部分意匠として意匠登録を受けようとする部分である。

【部分意匠】

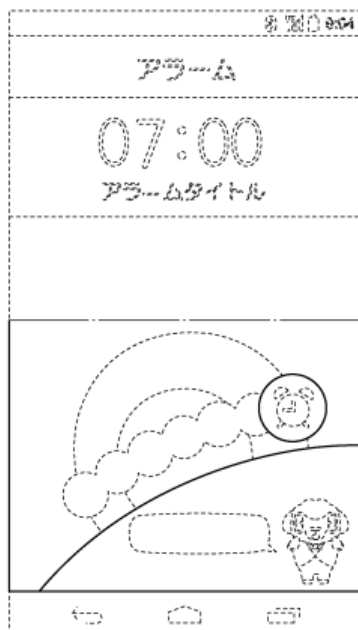
【正面図】



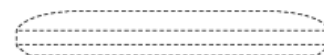
【表示部拡大図】



【操作部がスライドした状態の表示部拡大図】



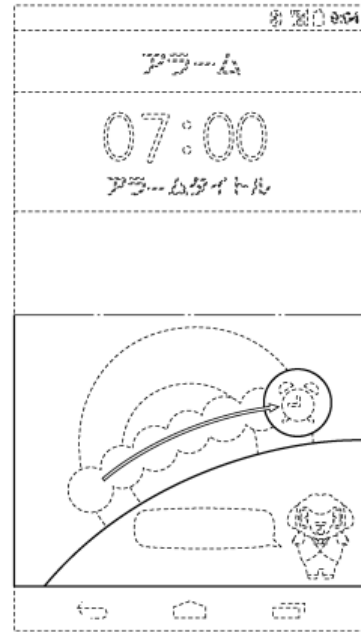
【平面図】



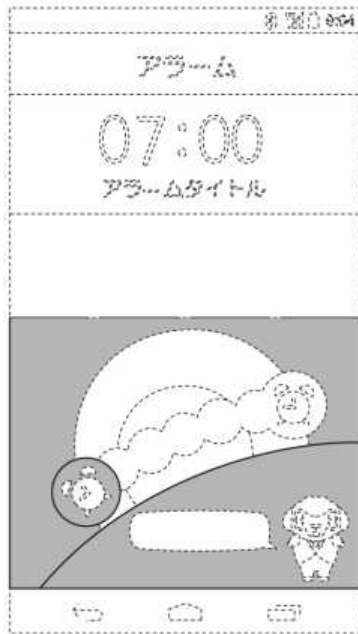
【右側面図】



【操作部の動きを示す参考表示部拡大図】



【意匠登録を受けようとする部分を示す参考表示部拡大図】



【各部名称及び使用状態を示す参考表示部拡大図】

